



～ 自他共栄～ NO.31

2026年3月12日

発行責任者 根岸 大智

編集責任者 情 宣 部

テロにも戦争にも反対するために、 貨物労組青年部から声を上げよう！！

2月28日、アメリカ軍とイスラエル軍は合同でイランに対して攻撃を行ない、児童を含め多くの方が死亡しました。この攻撃に対して行われたイランの報復攻撃では、近隣諸国の米軍基地だけでなく、民間施設や人にも被害が及んでいます。また、ホルムズ海峡を通過するタンカーも攻撃を受けるなど、世界の物流網にも大きな打撃となっています。米国はロシアによるウクライナ侵攻に対しては「武力による現状変更は容認できない」という立場をとりながらも、1月のベネズエラ攻撃を含め武力による現状変更を積極的に行っており、言動が矛盾したものとなっています。

世界各地で戦争や紛争が現在も起きています。私たちの仕事は、貨物輸送に携わる関係上、兵站輸送をしなければなりません。有事の際は真っ先に武力攻撃を受ける対象になってしまうのは明白です。

仲間を戦争の被害者にも加害者にもさせないために、あらゆる戦争政策に反対し、反戦平和を求め取り組んでいきましょう！



国連憲章や国際法を無視した暴挙である！ 日本政府は、即時停戦を求めるべきだ！！